

松江工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	英語 6
科目基礎情報					
科目番号	0041		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	人文科学科・数理科学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	4	
教科書/教材	教科書: 改訂版Big Dipper English Communication III (数研出版) / 改訂版Big Dipper English Communication IIIベーシックノート (数研出版) / DataBase4500完成英単語・熟語 (桐原書店) / Best Practice for the TOEIC L&R Test Basic (リンガポルタ対応版) (成美堂) / 即戦ゼミ11大学入試Newベストポイント英語頻出問題740 (桐原書店)				
担当教員	ハーヴィー 佳奈, 福田 妙子				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ DataBase4500の65%以上の語彙の意味がわかり、運用することができる</li> <li>・ 社会や時事に関する英語の文章を的確に読むことができる</li> <li>・ 日本語を介さずに理解できる英文の水準を自ら選び、自律的・継続的に読書できる</li> <li>・ 自然な速度で読まれる英語を聞いて概要や必要な情報を聞き取ることができる</li> </ul>					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	DataBase4500の70%以上の語彙を認識できる	DataBase4500の65%以上の語彙を認識できる	DataBase4500の60%以上の語彙を認識できる	DataBase4500の60%以上の語彙を認識できない	
評価項目2	テキストの内容を十分理解し、英語の読み物を自律的・継続的に読み日本語を介さずに理解することができる	テキストの内容を理解し、英語の読み物を自律的・継続的に読み日本語を介さずに理解することができる	テキストの内容を理解し、英語の読み物を自律的・継続的に読み日本語を介さずに理解することがある程度できる	テキストの内容を十分理解し、英語の読み物を自律的・継続的に読み日本語を介さずに理解することができない	
評価項目3	英文法や構文を用いて、自分の考えや感情を分レベルで表現することができる	英文法や構文を用いて、自分の考えや感情を分レベルで表現することができる	基礎的な英文法や構文を用いて、自分の考えや感情を表現することが概ねできる	基礎的な英文法や構文を用いて、自分の考えや感情を表現することができない	
評価項目4	自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を正確に聞き取ることができる	自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を聞き取ることができる	自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を概ね聞き取ることができる	自然なスピードで読まれる英語の概要や必要な情報を正確に聞き取ることができない	
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 G3					
教育方法等					
概要	<p>本科5年間で「自分の専門分野に関する情報について、英語で理解し、やり取りができる、基礎的な英語運用力を身につけたエンジニア」を育成することを目指す。そのために、本授業においては、主に長文読解、英文法やリスニング力の向上をはかる。1週あたり180分間の授業の内訳は次の通りである。</p> <p>【週2回授業のうちの1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書読解・TOEIC演習・DB小テスト (13回分)</li> </ul> <p>【週2回授業のうちのもう1回】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEIC演習・図書館で英語多読授業 (個別の読書活動) ・月例テスト (4回分)</li> </ul>				
授業の進め方・方法	<p>最終成績の評点が50点以上ならば合格とする。また、単位取得の条件として、2/3以上の出席を求める。成績評価の内訳は次の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験: 60点 (中間: 30%、期末: 30%)</li> <li>・Database小テスト: 10%</li> <li>・月例テストおよび夏休み課題試験: (4+1回) 10%</li> <li>・1月実施分TOEIC-IPスコア (350点満点で換算): 10%</li> <li>・夏休休暇課題提出: 5%</li> <li>・多読図書読破語: 5% [目標語数: 80wpm×(30分×8回+15分×9回)=30,000語(目標累計総語数136,600語)]</li> </ul>				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不合格者に対して、再評価試験を実施する</li> <li>・グローバルプロジェクト主催イベントの参加回数毎に当科目成績に1点加点する (上限5点)</li> <li>・1月12日 (金) に本校にて実施されるTOEIC-IPを受験する (当該回TOEIC-IPスコアは本科目の成績に反映される: 注意* 特別履修単位申請の対象外)</li> </ul>				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input checked="" type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	授業ガイダンス, DB test 14, TOEIC演習 Unit1, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。	
		2週	DB test 15, 教科書 L14, TOEIC演習 Unit2,	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。	

4thQ	3週	DB test 16, 教科書 L15, TOEIC演習 Unit3, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	4週	DB test 17, 教科書 L17, TOEIC演習 Unit4, 月例テスト①	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	5週	DB test 18, 教科書 L17,  TOEIC演習 Unit5, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	6週	DB test 19, 教科書 L19, TOEIC演習 Unit6,	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	7週	DB test 20, 教科書 L19, TOEIC演習 Unit7, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	8週	中間試験	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	9週	DB test 21, 教科書 L24 TOEIC演習 Unit8, 月例テスト②	
	10週	DB test 22, 教科書 L24 TOEIC演習 Unit9, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	11週	DB test 23, 教科書 L25 TOEIC演習 Unit10, 月例テスト③	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	12週	DB test 24, 復習 TOEIC演習 Unit11&12, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	13週	DB test 25, 教科書 L25 TOEIC演習 Unit13	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	14週	DB test 26, 復習 TOEIC演習 Unit14, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。
	15週	期末試験	
	16週	試験解説, 月例テスト④, 多読	英語のイントネーション、音のつながりに配慮して音読し、発音・アクセントの規則を修得する。既習内容の定着とともに、高等学校学習指導要領に準じた新出の語彙・文法・文構造を修得する。毎分80語程度の速度で読み、英語で書かれたまとまった文章の概要を把握できるようになる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
			明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
			中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	

			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。</p> <p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。</p>	3		
		英語運用能力の基礎固め		3		
				3		
				3		
				3		
				3		
				3		
		英語運用能力向上のための学習	<p>自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。</p> <p>英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。</p> <p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p> <p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p> <p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p> <p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p> <p>実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。</p>	3		
				3		
				3		
				3		
				3		
				3		
				3		
				3		

評価割合

	定期試験	小テスト	夏休み課題試験 および月例テスト	TOEICスコア	夏休み課題提出	多読活動	合計
総合評価割合	60	10	10	10	5	5	100
基礎的能力	60	10	10	10	5	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0